

第2四半期決算説明会



株式会社 帝国電機製作所

平成25年11月21日

(東証1部 6333)

<http://www.teikokudenki.co.jp/>

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみを全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。



株式会社 帝国電機製作所

当社の現状と今後の展望

代表取締役社長 宮地國雄

平成26年3月期第2四半期累計の概況

百万円	平成24年9月 上期実績	平成25年9月 上期実績	伸率	平成25年9月 上期計画	計画比
売上高	9,135	8,845	-3.2	8,877	-0.4
営業利益	1,021	657	-35.7	852	-23.0
経常利益	947	956	1.0	881	8.5
四半期純利益	585	574	-1.9	498	15.4
1株当り当期純利益	64円43銭	63円23銭	-	54円81銭	-

- 前年同期比、減収減益。
- 売上高は新興国の景気減速による設備投資の落ち込み等から、計画に対して若干の未達に終わった。また利益面についても、前年度受注した採算の悪い案件が売上計上されたことによる粗利率の悪化並びに販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は計画に対して大幅な未達となったが、為替差益等により経常利益・純利益では計画を達成した。

四半期推移

百万円	平成25年3月				平成26年3月	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	4,423	4,711	4,320	6,476	3,844	5,001
営業利益	417	604	438	693	186	470
経常利益	351	596	767	936	448	508
四半期純利益	140	445	557	676	242	332
1株当り四半期純利益	15円41銭	49円02銭	61円29銭	74円45銭	26円70銭	36円53銭

- ・平成26年3月期上半期は、新興国の景気減速による設備投資の落ち込みや、太陽光発電(ポリシリコン)向けポンプの剥落、前年度受注した採算の悪い案件が売上計上されたこと等から、売上・利益面とも低調に推移した。

事業別セグメントの状況

百万円	平成25年3月				平成26年3月	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	4,423	4,711	4,320	6,476	3,844	5,001
ポンプ事業	3,724	4,018	3,617	5,603	3,158	4,298
電子部品事業	620	601	620	624	597	590
その他	77	91	82	249	88	112
営業利益	417	604	438	693	186	470
ポンプ事業	396	589	405	658	167	429
電子部品事業	20	7	29	20	12	19
その他	1	6	3	14	6	22

- ・ポンプ事業においては、国内の設備投資は依然として厳しく本格回復には至っておらず、海外でも新興国の景気減速等により設備投資に落ち込みが見られたこと等から、国内外ともに低調に推移している。
- ・電子部品事業においては、受託先企業からの仕事量の一部が海外移転したこと等により自動車用電装品の電子機器ユニットの需要が減少したため、低調に推移している。

所在地別セグメントの状況

百万円	平成25年3月				平成26年3月	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	4,423	4,711	4,320	6,476	3,844	5,001
日本	2,283	2,484	2,084	2,349	1,928	2,177
欧米	770	882	958	1,291	785	758
アジア	1,369	1,344	1,277	2,835	1,130	2,065
営業利益	417	604	438	693	186	470
日本	270	315	329	78	121	213
欧米	42	123	57	211	42	46
アジア	166	133	176	258	80	210

注)売上高は外部顧客に対する売上高。営業利益合計は連結調整後営業利益。

- **日本**
 - 主力のポンプ事業は、設備投資が依然として本格回復には至らず低調に推移。
 - 電子部品事業は、受託先企業からの仕事量の一部が海外移転したこと等により低調に推移。
- **欧米**
 - 米国においては、太陽光発電(ポリシリコン)向け案件の剥落等により全体的に低調に推移。
- **アジア**
 - 中国市場では、前年度受注した採算の悪い案件が売上計上されたことによる粗利率の悪化により、利益面が低調に推移。
 - 東南アジアではヤシ油精製プラント向け等が好調に推移。

受注・受注残の状況

百万円	平成24年9月上旬期		平成25年9月上旬期			
	受注高	受注残	受注高	増減率	受注残	増減率
ポンプ事業	7,547	5,917	8,714	15.5%	5,953	0.6%
電子部品事業	1,244	229	1,214	-2.4%	222	-3.4%
その他	182	217	167	-8.0%	107	-50.7%
合計	8,974	6,364	10,096	12.5%	6,282	-1.3%

- **ポンプ事業**

- 受注は全体的に回復基調にある。
- 中国においては、欧州の財政危機再燃に伴う輸出の落ち込みによる景気減速等がみられたものの、受注は回復傾向にある。

- **電子部品事業**

- 自動車用電装品は、受託先企業からの仕事量の一部が海外移転したこと等により電子機器ユニットの需要が減少しているため、低調に推移している。

事業の動向

事業区分	主要製品など		今後の予想
ポンプ事業	ケミカル用	ケミカル機器用	
		LPG機器用	
		冷凍機・空調機器用	
	ケミカル以外用	半導体機器用	
		電力関連機器用	
		定量注入機器	
電子部品事業	自動車用電装品		
その他	特殊機器	電磁石	
		昇降機	
	健康食品		

今期業績見通し

【通期予想】

百万円 伸率%	25年3月期(実績)		26年3月期(予想)	
	金額	伸率	金額	伸率
売上高	19,933	12.2	18,036	-9.5
営業利益	2,153	1.1	1,460	-32.2
経常利益	2,651	24.5	1,800	-32.1
当期純利益	1,820	46.9	1,124	-38.2
1株当り当期純利益	200円17銭		123円66銭	

- ・前期比減収減益を見込む。
- ・通期計画については、プロジェクト案件を中心に売上計上時期が次年度にずれ込むこと、および新興国の景気減速による設備投資の落ち込み、太陽光発電(ポリシリコン)向けポンプの剥落等により、当初予想を下回る見込みとなり、11月8日付で下方修正を実施。

上記の予想数値は、本資料の作成日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績等は、経済情勢の変化等の不確定要因により、記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

今後の成長戦略

海外事業の強化

• 北米(世界最大のケミカル産業があり、ケミカル用ポンプの最大マーケット)

石油化学業界の設備投資回復に加え、太陽光発電、バイオ燃料、原子力発電等の石油代替市場や高速鉄道建設に期待。中長期的にはシェールガス革命に伴うエチレンプラントおよび下流品としての化学品基礎原料のプラント等にも大きな期待が持てる。

- メカニカルシールポンプ市場への侵攻
- 新型電動油ポンプの新規受注
- 超大型キャンドモータポンプの受注
- 冷凍設備用ポンプ・バイオ燃料市場でのマーケットシェア拡大
- 市場拡大のための代理店網の営業力強化及び直販体制の拡充
- TEXAS PROCESS EQUIPMENT社のキャンドモータポンプ修理サービス事業買収によるサービス体制の拡充

• 中国(近年、ケミカル産業が急成長している)

欧州財政危機等に伴う輸出の落ち込みによる景気減速が見られ、景気の先行きには不透明感はあるが、ケミカル用ポンプや車両用ポンプ、空調機向けポンプ等を中心に受注は回復傾向にある。

- 台湾市場及び中国市場での更なる収益基盤強化を目的とした組織再編(12年3月大連帝国による台湾帝国の子会社化)
- 超大型ポンプ市場への本格的参入を目的とした大型ポンプ工場建設(12年10月完成。設備を含む投資額2億83百万円)
- サービス体制の拡充(09年2月設立の無錫サービス会社及び09年6月設立の済南サービス会社の隣接地への移転、13年4月台湾・高雄市に修理工場の新設、13年12月成都市にサービス会社新設)
- 営業力の強化(12年3月 天津市・雲南省昆明市、13年4月安徽省合肥市・陝西省西安市に営業所新設)

• その他

中東・インド等の市場をにらんでさらなる海外拠点をバーレーンに新設(12年12月)

中期的な経営戦略と目標

- **中期的な経営戦略**

- 連結経営強化の観点から子会社を含めた事業の効率向上と一層の連携強化に努める
- 完全無漏洩構造の「キャンドモータポンプ」事業をコアとし、技術開発型企業グループとして、「よりよい製品をより安く」「お客様に信頼される製品造り」「地球環境に優しい製品造り」をベースに事業領域を拡大
- 激変する事業環境に対処するため、また景気変動に強い体質づくりを目指し、成長を図る施策を展開

- **経営目標**

- 景気動向による売上高に左右されることなく、適正利益を生み出せる強靱な経営体質を目指す
 - 海外売上高比率55%以上(当第2四半期連結累計期間 61.1%)
 - 売上高経常利益率12%以上(当第2四半期連結累計期間 10.8%)

配当金の推移

	1株当たり中間配当	1株当たり期末配当	1株当たり年間配当
平成23年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
平成24年3月期	10円00銭	12円00銭	22円00銭
平成25年3月期	12円00銭	12円00銭	24円00銭
平成26年3月期	12円00銭	12円00銭 (予定)	24円00銭 (予定)



株式会社 帝国電機製作所

決算説明

取締役総務本部長
中村嘉治

会社概要

プロフィール

商号	株式会社 帝国電機製作所	昭和 14 年 9 月	鉄道保安装置一式製作販売及び一般電気機械製作販売を主たる目的として、大阪市北区曽根崎新地に株式会社帝国電機製作所を設立
本社所在地	〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野 60	昭和 19 年 2 月	業務の拡張と戦時疎開のために兵庫県揖保郡新宮町に新宮工場を竣工
敷地面積	42,023 m ²	昭和 35 年 4 月 平成 3 年 11 月	自社製品キャンドモータポンプ初号機完成 米国デラウェア州ドバー市に子会社 TEIKOKU USA INC. を設立
設立年月	昭和 14 年 9 月	平成 6 年 12 月	中国遼寧省大連市に大連キャンドモータポンプ廠との合弁会社大連帝国キャンドモータポンプ有限公司を設立
資本金	2,116,823 千円(平成 25 年 9 月末)	平成 11 年 1 月 平成 11 年 3 月	台湾台北市に子会社台湾帝国ポンプ有限公司を設立 シンガポールに子会社 TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD. を設立
発行済株式数	9,450 千株	平成 11 年 5 月	大阪証券取引所市場第二部に上場
業種	電気機械器具の製造販売	平成 13 年 11 月 平成 14 年 8 月 平成 15 年 2 月	大連帝国キャンドモータポンプ有限公司を完全子会社化 ドイツ デュセルドルフ市にTEIKOKU ELECTRIC GmbHを設立 子会社 TEIKOKU USA INC. がアメリカのケミポンプ事業部(キャンドモータポンプ発祥会社)買収
決算期	3 月 31 日(年 1 回)	平成 17 年 2 月	東京証券取引所市場第二部に上場
従業員数	1,247 人(連結)、343 人(単体) (平成 25 年 9 月末)	平成 17 年 10 月	子会社 TEIKOKU KOREA CO., LTD を設立
事業所数	3 工場、5 営業所、3 出張所、1 駐在員事務所	平成 18 年 9 月 平成 19 年 2 月 平成 20 年 10 月	東京証券取引所市場第一部に上場 大阪証券取引所市場第一部に上場 帝国電機技術開発センター及び上月電装新工場竣工
連結	子会社 13 社 (国内 5、海外 8)	平成 20 年 10 月 平成 21 年 2 月	大連帝国キャンドモータポンプ有限公司工場増設 江蘇省無錫市に無錫大帝キャンドモータポンプ修理有限公司設立
社是		平成 21 年 6 月	山東省済南市に済南大帝キャンドモータポンプ修理有限公司設立
	みんなで良くなる	平成 22 年 4 月	平福電機新工場竣工
	誠実に事に当たろう	平成 22 年 5 月	TEIKOKU USA INC. が TEXAS PROCESS EQUIPMENT COMPANY 社のキャンドモータポンプ修理サービス事業を取得
	積極的にやろう	平成 24 年 3 月	大連帝国キャンドモータポンプ有限公司が台湾帝国ポンプ有限公司を子会社化(当社の孫会社化)
		平成 24 年 12 月	バーレーン駐在員事務所設立
		平成 25 年 8 月	帝国電機光都工場竣工

損益計算書の概要

	平成25年9月 上期実績	前年同期比 %
単位 百万円		
売上高	8,845	▲3.2
売上原価	5,667	▲1.9
売上総利益	3,178	▲5.4
販売費・一般管理費	2,520	7.8
営業利益	657	▲35.7
営業外損益	299	
経常利益	956	1.0
特別損益	30	
税引前利益	987	4.7
法人税等	412	
当期純利益	574	▲1.9

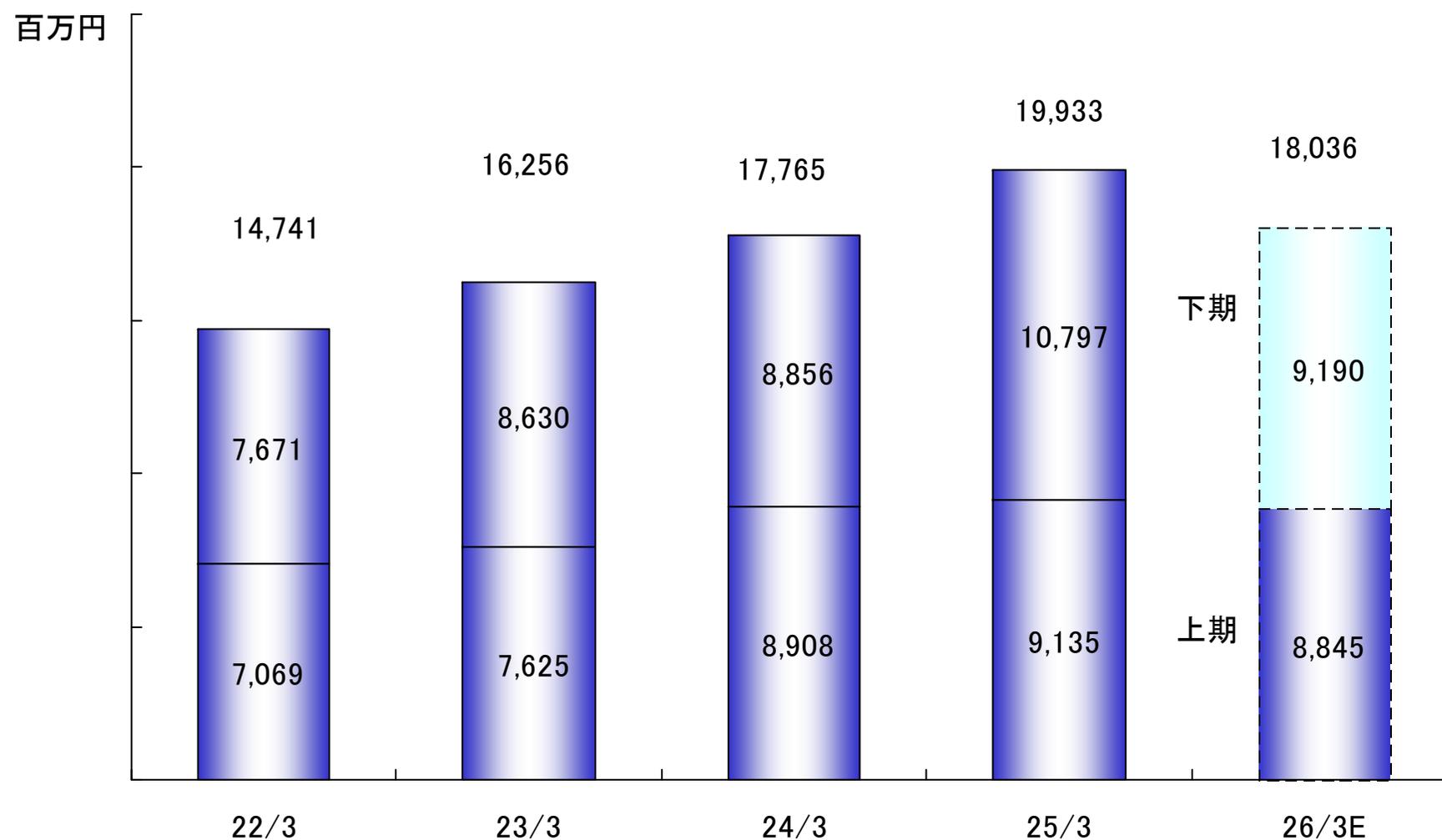
[評価為替: 1US\$=98.58円、1元=16.03円、1EUR=128.51円、1KRW=0.08円]

今期予想

単位 百万円	通期	前期比 増減%
売上高	18,036	▲9.5
売上原価	11,394	▲10.7
売上総利益	6,641	▲7.3
販売費・一般管理費	5,181	+3.3
営業利益	1,460	▲32.2
経常利益	1,800	▲32.1
当期純利益	1,124	▲38.2

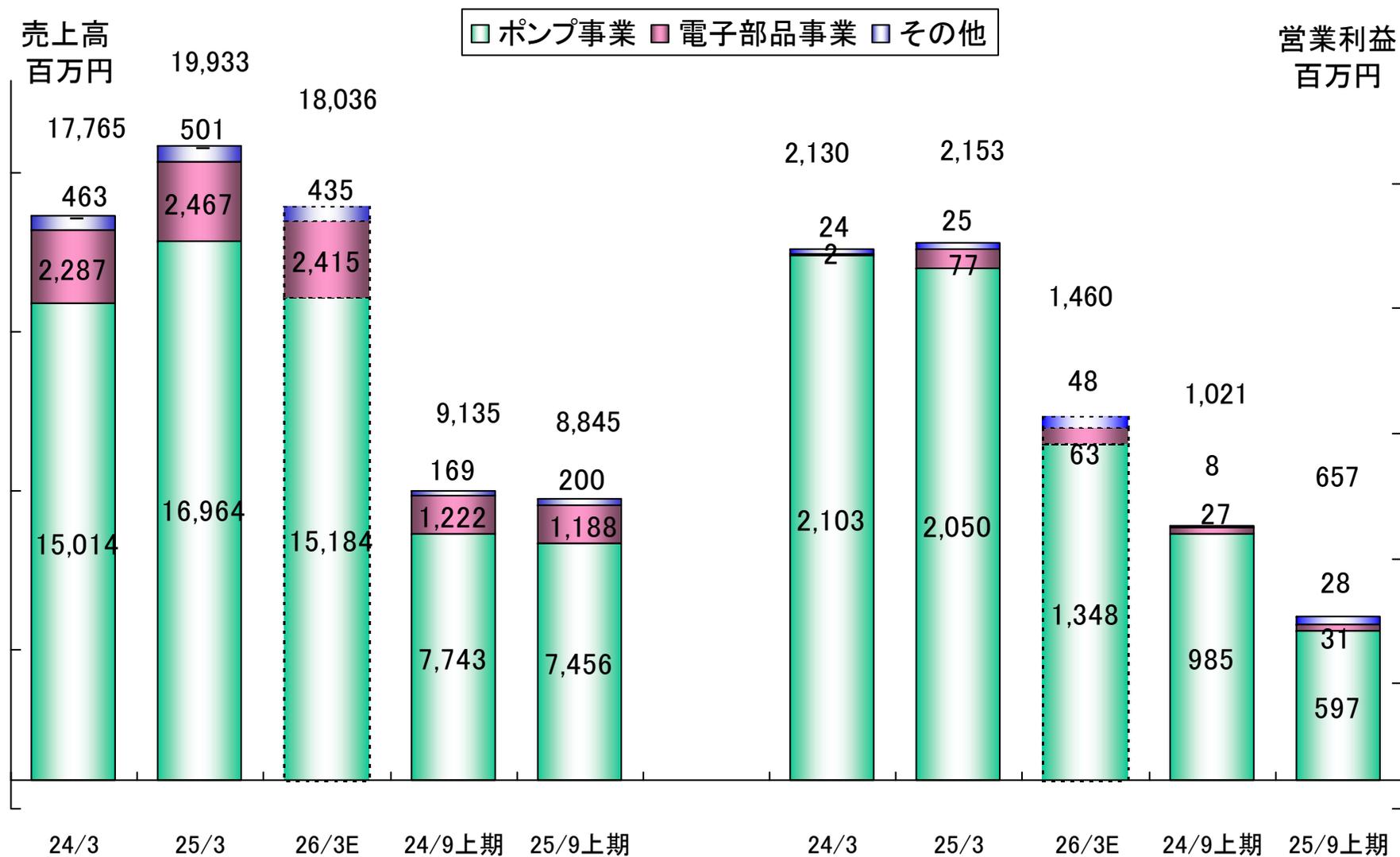
[計画為替レート: 1US\$=98.0円、1元=16.0円、1EUR=128.0円、1KRW=0.08円]

売上高の推移

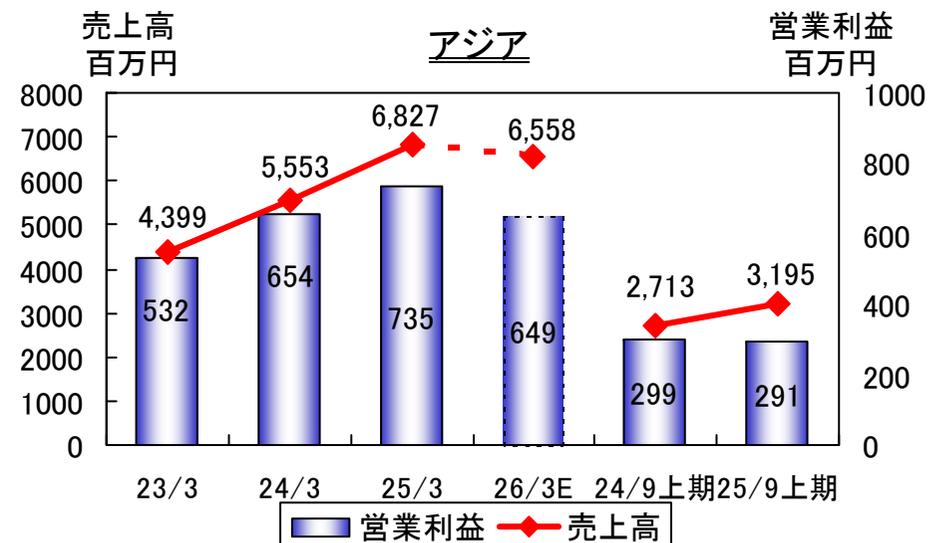
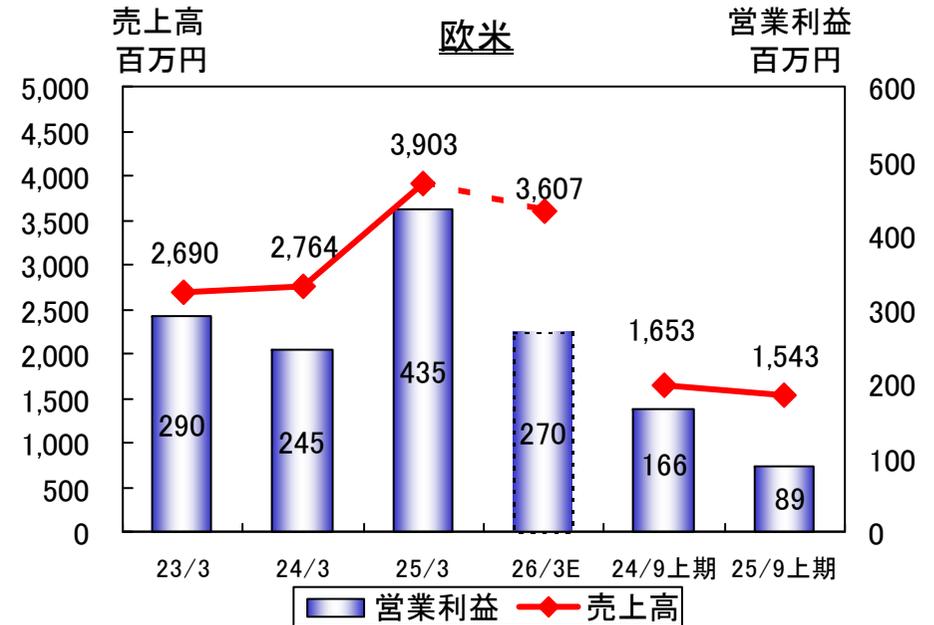
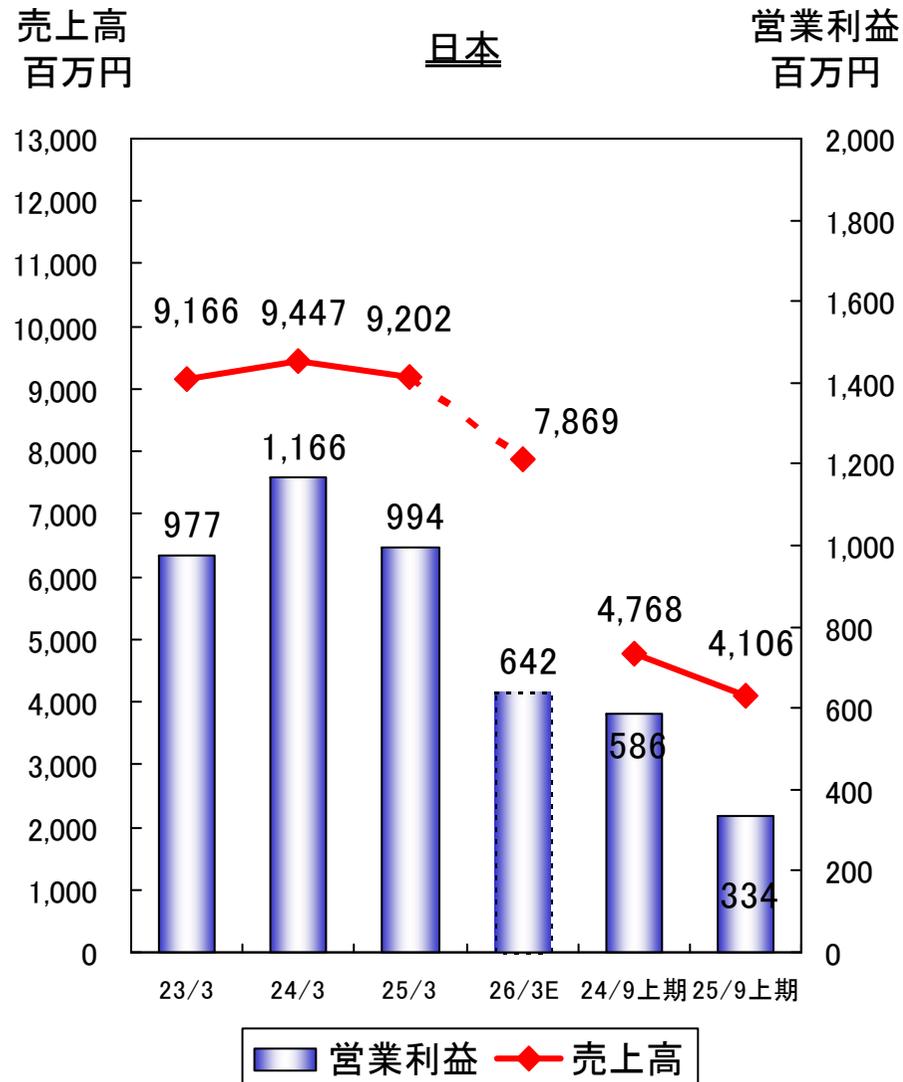


注) 予想数字は注意事項ですので、取り扱いには十分ご注意ください

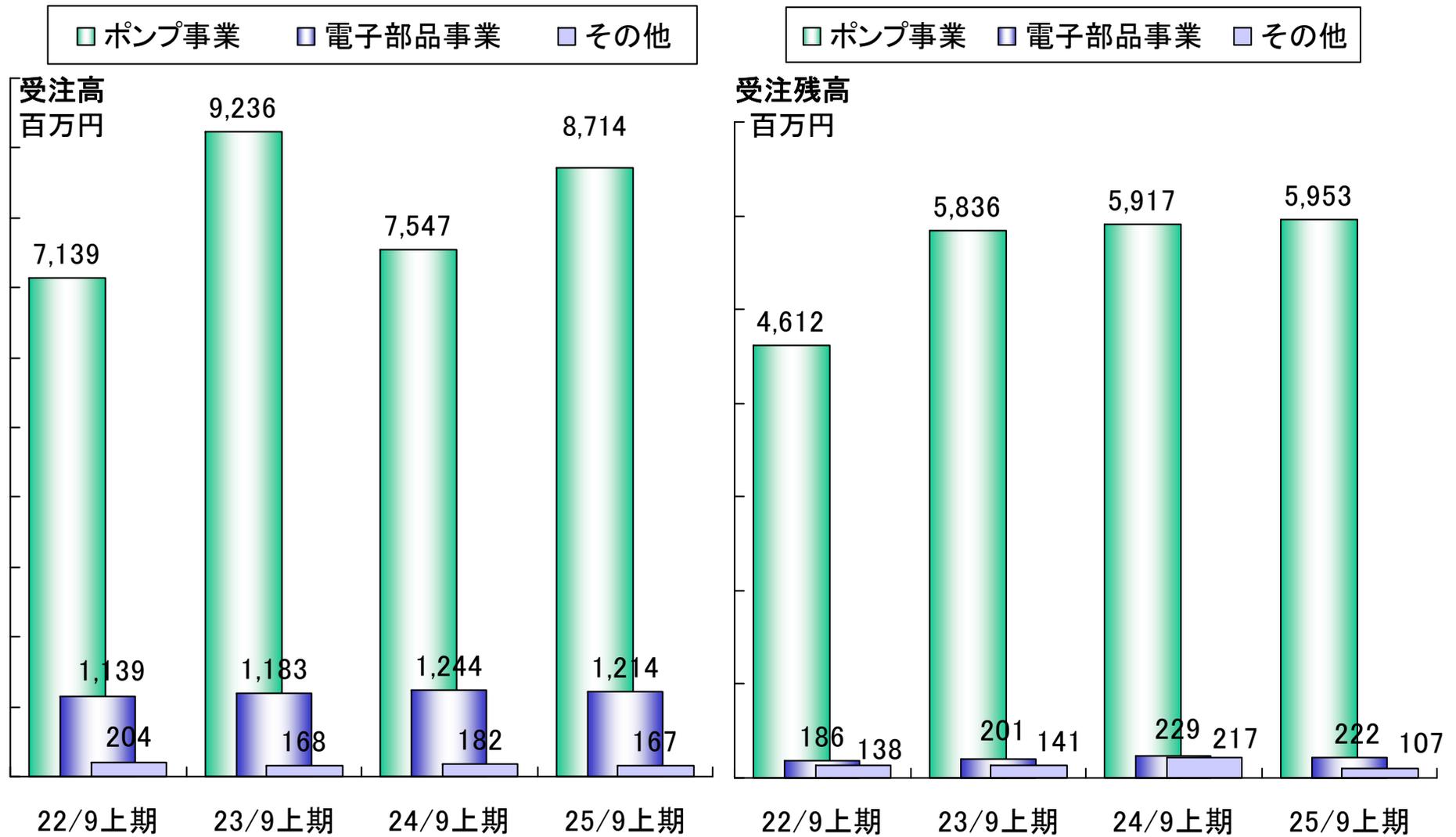
事業の種類別セグメント



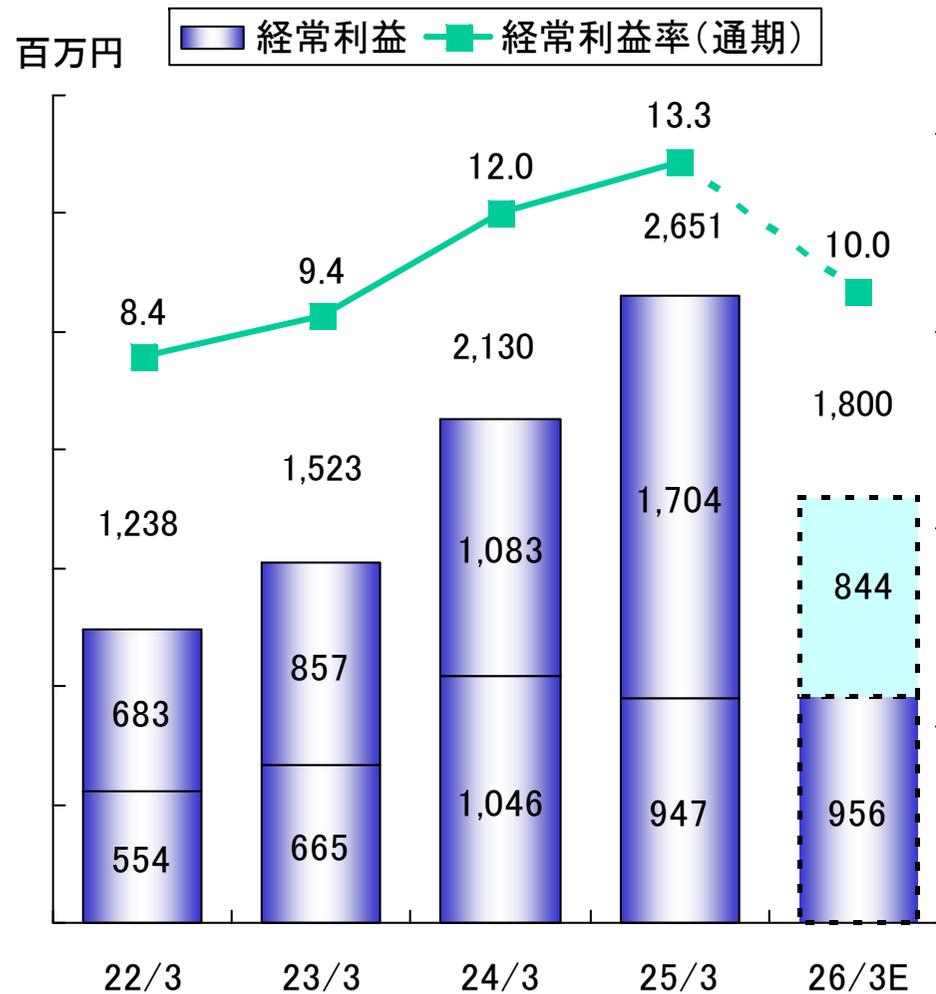
所在地別セグメント



事業の種類別受注と受注残高



経常利益



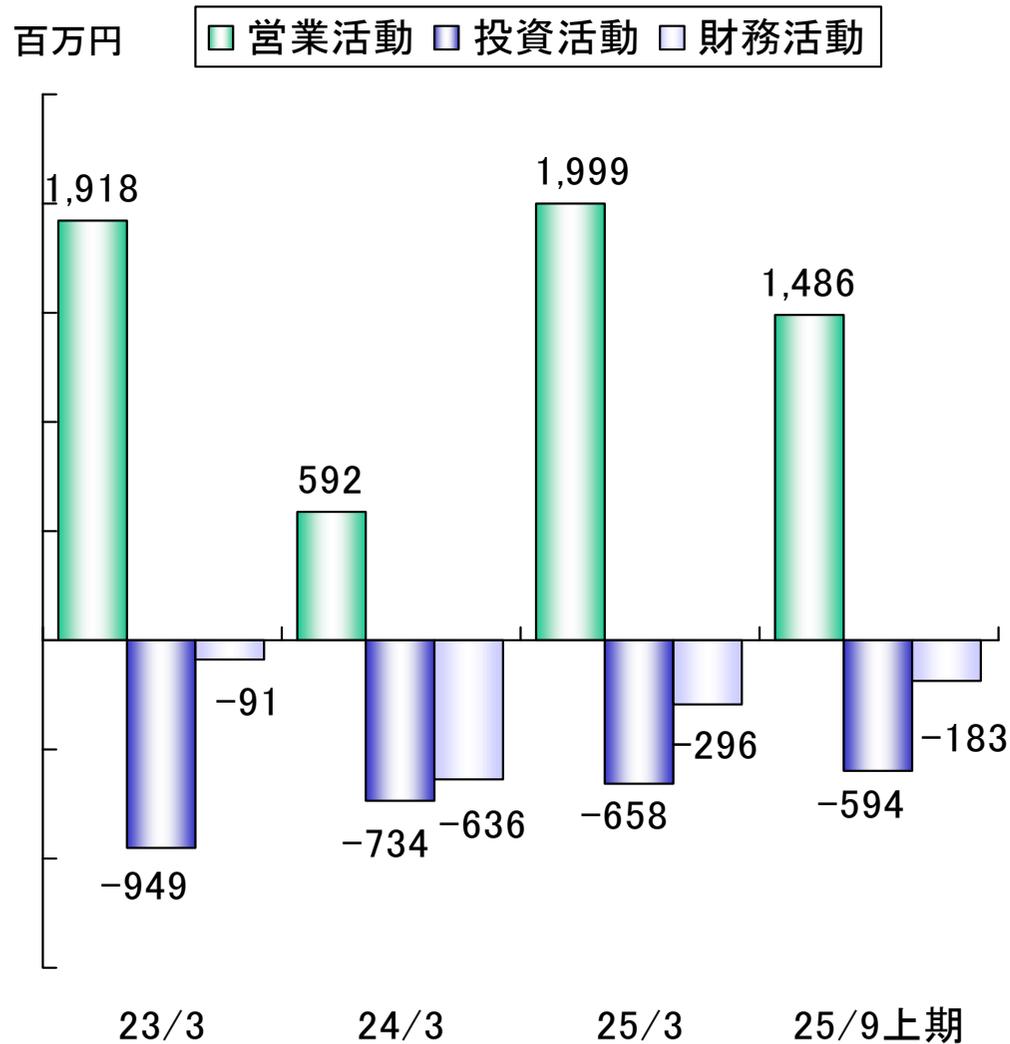
増減要因(前年同期比)

経常利益	+9百万円
販管費 (うち人件費 ▲26百万円)	+181百万円
営業外収益	+240百万円
営業外費用 ▲132百万円	
親会社	+127百万円
国内子会社	+2百万円
海外子会社	▲89百万円

連結貸借対照表の概要

単位 百万円	連結	前期末 増減		連結	前期末 増減
流動資産	15,361	380	流動負債	5,168	▲62
現預金	5,189	1,131	支払手形・買掛金	2,048	85
受取手形・売掛金	5,805	▲1,075	短期借入金	707	26
製品	989	56	その他	2,413	▲173
仕掛品	1,923	186			
原材料及び貯蔵品	992	▲7	固定負債	1,453	▲76
その他	462	90	その他	1,453	▲76
固定資産	8,165	598			
有形固定資産	6,096	372	純資産	16,905	1,117
無形固定資産	524	54	株主資本	16,228	465
投資その他の資産	1,545	171	その他の包括利益累計額	676	651
資産合計	23,527	978	負債純資産合計	23,527	978

キャッシュフローと設備投資



設備投資

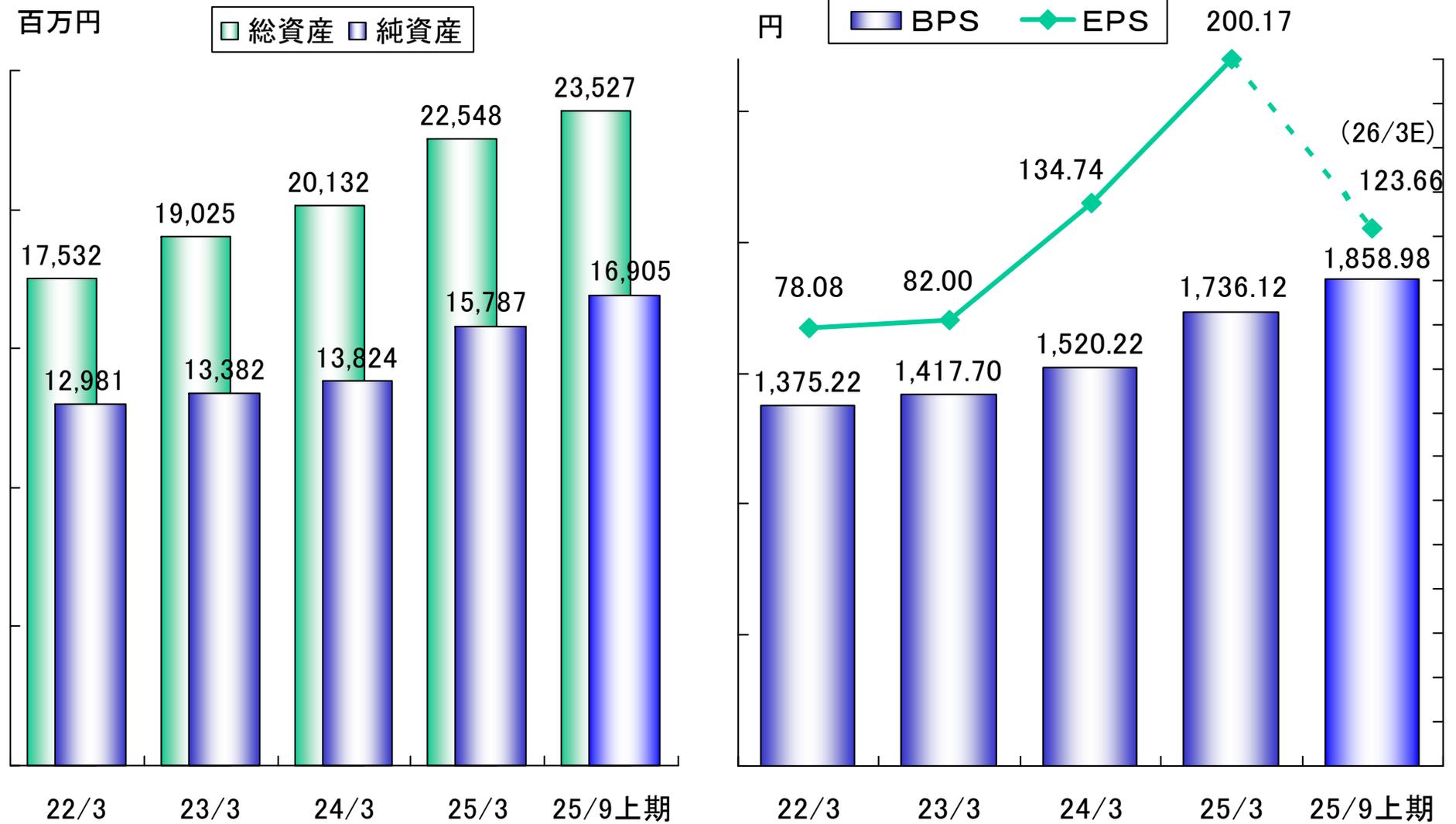
実績(当上期)

親会社	437百万円
子会社	138百万円
合計	575百万円

計画(通期)

親会社	683百万円
子会社	308百万円
合計	992百万円

総資産、純資産、BPS、EPS



株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所



株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所